

# 密着!

## あしかがしぎかい

# 議員定数について考えてみよう!

前回の特集では「議員定数の考え方」について廣瀬先生は議員定数を考える上で、6つの具体的な例は、その6つの例をご紹介します。

紹介しました。な算出方法があると述べています。

# 議員定数

Vol.1はコチラ

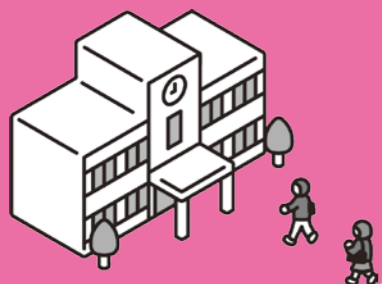


# Vol.2

## 議員定数の考え方の例を紹介します

### 小(中)学校区方式

小学校(中学校)区から最低一人を選出し、各小学校(中学校)区ごとの1票の格差を勘案し算出する考え方です。



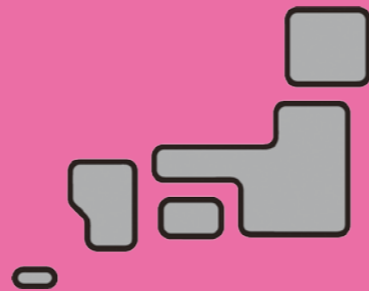
### 議会費固定化方式

議会費(本会議の運営やしぎかいひろばの発行に要する費用)のうち、議員定数と議員報酬に焦点を当てて算出する考え方です。



### 面積人口方式

統計学に基づいて、人口や面積により算出する考え方です。



### 類似都市比較方式

人口規模が同じような都市や人口と産業構造が同じような都市と比較して算出する考え方です。



### 人口比例方式

議員一人当たり、何人の足利市民を代表しているのか算出する考え方です。

議員一人当たりの足利市の人口は5,938人となっており、市民一人に対する議員数は県内で2番目に少ない状況です。



県内他市の状況はコチラ!

### 常任委員会数方式

議案の審査を行う常任委員会に何人の委員が必要か算出する考え方です。

委員が多すぎると意見が多岐にわたって結論が出づらくなる一方、委員が少なすぎると十分な議論を行うことができないなどの問題があります。

## 足利市議会ではこのように検討を進めています!

足利市議会では、議長を除く全議員(23名)で構成する「議会改革推進協議会」を設置し、議会改革に取り組んでいます。

前期第25期市議会では、計45回の会議を開催し、議員定数について多くの議論を重ねてきました。現在の第26期市議会においても、前期に引き続き、足利市議会における適正な議員定数に向けた検討を進めていきます。

▼議会改革推進協議会の様子



## 足利市議会に関する市民アンケートの結果をお知らせします!

市民の皆さまのご意見を議会活動の参考とするため、第368号(令和5年8月1日発行)で足利市議会に関する市民アンケートを実施しました。

いただいた回答の中には、議員定数についての意見もあり、市民の皆さんの関心の高さを改めて感じました。今後はいただいた意見も参考にして、議員定数について検討を進めていきます。貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

詳しい結果はコチラ



## 議員定数に関する勉強会を開催しました!

前号及び今号の議員定数に関する特集記事の作成にご協力いただいた廣瀬和彦先生を講師にお招きし、令和5年11月27日に議員定数についての勉強会を開催しました。

今後、議員定数の適正化について議論を進めるに当たり、論点を整理し考え方を学ぶため、全国的な地方議会議員の状況や他市の例などについて具体的にご教授いただきました。

様々な視点から、本市の議員定数を考えるよい機会となりました



前号に引き続きこのページは

廣瀬 和彦先生にご協力いただきました



プロフィール  
慶應義塾大学大学院法学研究科修士課程卒。全国市議会協議会で法制・議事運営等の職務に20年以上にわたり従事。現在、地方議会の法制執務をサポートする会社の代表や明治大学政治経済学部及び同公共政策大学院の講師を務める。また、議会に関する著作物も数多い。

目的を明確にして議員定数の算出方法を検討することが重要です!



▲勉強会の様子